岡崎市制100周年記念事業

岡崎まちものがたり: 六ツ美南部 I-13

耕地整理の碑

八幡社の境内に中島耕地整理の碑(1900年4月起工 1904年5月竣工)がある。当時、全国に率先してこの事業を計画し、石川・静岡の両県の先進地を視察して発起し事業に取り組んだ。それを記念して建立された石碑は、初めは中島町薬師(現在の碧海信用金庫駐車場)に建てられたが、1964(昭和39)年頃、石碑の前面道路(県道)拡幅のため、また同時に側道も拡幅されたため、現在の位置(八幡社境内)に移転され現在に至っている。

耕地整理の碑(表面)

耕地整理の碑

農商務大臣従二位勲一等男爵 清浦奎吾篆額

我邦以農業為生產本源是所以有瑞穗國之稱也然而古來田畝之制畦區狭小溝徑迂曲各圃畛域犬牙錯綜害生産之業達寔不鮮矣於是官夙視內外慣例新發布耕地整理法以力之実施然農家概墨守護慣不喜革新可慨也口愛知縣三河國碧海郡中島村字下中島邦民諸子業憤踐行之足以為他縣耕地之模範其功可謂偉矣盖下中島水旱相繼連歳不登地主農夫葛藤纒糾有志者苦慮百端遂乞官先開鑿溝渠稱髙橋用水又疏通廣田安藤二川於是除害興利収穫增焉葛藤釋焉邦民諸氏同心協力派人於石川静岡二縣撿耕地整理實況以明治三十四年五月起工三十七年四月告成其所整理耕地面積百五十町五反八畝十九歩參加土地所有者三百二十人工費約二萬圓服勞役四年其畦區狭小者為廣大溝径迂曲者為縄直犬牙錯綜者井然有條生産之業達可以期也成此偉業者實委員長早川龍介其他委員諸子斡旋之功居多焉告成之月八日擧竣工式于其口予興深野愛知縣知事脇屋碧海郡長郡中各町村長耕地整理委員地主等同臨式場述祝意此日也會接于我征露第一軍進渡鴨緑江抜九連城更陷鳳凰城第二軍点上塩大澳進略普蘭店之捷報而下中島村民諸子奏耕地革新之偉功彼此紀念不可忘之吉日也項有志諸子相謀建碑以傳之子不朽請予文誼不可辞因記其梗概系之以銘銘曰

実践因人 其法始尊 耕地面目 千歳一新 五穀穣穣 連澄如雲 伐我大捷 奮進三軍 維忠維孝 瑞穂國民 明治三十八年八月吉 農商務次官従四位和田彦次郎撰弁書

稱:=称、ショウ、唱える、 畦:ケイ、うね、あぜ、 圃:ホフ、はたけ

畦:ケイ、うね、あぜ、 畛:シン、あぜ

寔:ショク、まことに、 夙:シュク、つとに、 哉:=哉、 盖:ガイ、かさ、ふた

繼: =継、ケイ、つぐ、 纏: てん、まとう、 疏: ソ、うとい、 釋: =釈 焉: エン、いずくんぞ、 于: ウ、ここに、ゆく、 邦: =邗、カン、ガン 陷: =陥、 鳳凰:ほうおう、 辞: =辞、 靣: =面、 捷:ショウ、はやい

[日露戰爭]

1904 (明治37) 年5月1日、征露第1軍、中国鴨緑江の戦いで鴨緑江を渡河し、九連城を占領した。5月5日には第2軍が中国遼東半島に上陸開始した。また、5月6日には鳳凰城および普蘭店を占領した。

[清浦奎吾(1850~1942)]

清浦奎吾(きようらけいご)は、司法官僚、政治家。位階は正二位。伯爵。貴族院議員、司法 大臣、農商務大臣、内務大臣、枢密院議長、内閣総理大臣などを歴任した。

[深野一三(1852~1918)]

深野 一三 (ふかのいちぞう) は、内務官僚・政治家。県知事、貴族院議員、錦鶏間祗候。1895年香川県知事に就任。1896年、鳥取県知事に転じ、府県制・郡制を施行した。1899年、福岡県知事に発令され、福岡市に九州帝国大学の誘致を推進した。1902年10月、愛知県知事に転任した。

名古屋港築港に尽力し、1906年には県内の自治体数を従前の4割程度に削減する愛知県独自の町村 大合併を断行した。1912年12月まで在任し退官。

[和田彦次郎(1859~1939)]

和田彦次郎(わだ ひこじろう)は、衆議院議員、農商務官僚、貴族院勅選議員。正三位、勲一 等。1898 (明治31) 年、議員在職のまま農商務省農務局長に就任。1903 (明治36) 年5月、商工 局長に転任。さらに9月に農商務総務長官に昇任した(12月に農商務次官と改称)。







清浦奎吾

深野一三

和田彦次郎

・耕地整理の碑(裏面)

Ħ	決	旦,	人
整	理	委	員
		_	

長 早川 龍介 全副委員長 鶴田 勝藏 鍋田 恒雄 소 早川治三郎 仝事務長 市川文兵衛 仝土木係 早川 榮吉 仝 仝 本田利右ェ門 소 髙橋德次郎 仝 鵜野卯三郎 仝 赤松德之助 仝 杉田政次郎 全土地割付 大竹文左衛門 評價係 太田滝三郎 仝 仝 鶴田 勝助 仝 杉浦 善助 소 杉浦 藤助 仝 鋤柄興右衛門 仝 鋤柄市太郎 全會計 太田 卯吉 榊原 勘助 仝 仝庶務 石川 種吉 早川 大助 仝 仝 早川定之助 소 田九郎 治 仝 太田重太郎

第二軍

亦

上監

大澳進略普蘭店之捷報

而

下中島村民諸氏

奏耕

地革新之偉

功

彼 城

此

紀

念不

可 城

長郡中各町

村

長耕

地整理

緑江拔九連

更陥

鳳

凰

忘之吉日也項有志諸氏

相

謀

建碑

以

傳之于不朽請予文誼

不

可

辞

因記

其梗

概系之

銘

耕地面

目

千歳一新 維忠維

> 五 一穀

穰

民 穣

實践 澄

如雲人因人

伐俄大捷 其法始尊

奮進三軍

瑞

穂

國

達粗

月起工三十七年四月告成其所整理耕 增焉葛藤釋焉邦民諸氏同 糾有志者苦慮百端遂乞官先開鑿溝渠稱 践行之足以為也縣耕地之模範其功可謂偉 然農家概墨守舊價不喜革新可慨也哉愛知県三河國 畛 我 委員地主等同 告成之月 然有條生產之發達可以 百二十人工費約二 域犬牙錯綜害生産之発達寔不鮮矣於是官夙視內 邦 以 農業為生產本源 八日攀竣工式于其邦予與深野愛知県 臨式場述祝意此日也會接于我征露第一 務 萬圓 大臣 【服勞役 是所 期 一從二位 也成此偉業者實委員長早川 心協力派人於石 以 四年其畦區 有 勛 瑞 穂 等男爵清 地面 國 高 Ž 積 川静 橋 矣盖下中島 稱 狭 百 小 用 也 浦 者為廣 水又疏 五十 岡二県検耕 然 奎吾篆 知事 而 八外慣例 町五 「碧海 古来田 脇 軍進 大溝 通廣 水旱 屋 龍介其他委員諸氏斡旋之功居多焉 生碧海郡 反 郡 中島村 新発布以 渡鴨 径迂 相繼 八畝十九步参加土 田安藤二川 地整理實況 畝 之制

連

歳不

登

一地主農夫葛藤

民

諸 力

氏 Ż

於是除

利

収

以

明治

三十 害興

四

年

五 穫

耕地整理 字下中島

法 邦

實

畦

品

狭

小

徑 以

迁

曲

各

圃

農商務次官従 四 位 和 田彦次郎撰并

明治三十八年八月吉

(赤色は不明な文字、仮の宛て字です。 元字は裏面を参照してください)

典

者為縄

直

犬牙錯

綜者井 有者三

一地所

不 明 文 字				
哉	足	焉		
式	是	為		
釋	焉	焉		
釋	馬	含		
拔	俄			
扬	俄			

・耕地整理の碑(口語訳)

我が邦は農業を以て生産の本源と為す。是瑞穂の国の称を有する所以なり。然るに古来、田 畝の制は畦区狭小、溝経迂回、各圃略域の犬牙錯綜して生産の発達を害す。寔(まこと)鮮 (あざやか)にならず。是に於いて、官夙(つと)に内外の慣例に規り、新たに耕地整理法 を発布し、以て之が実施に力む。然るに、農家概して旧慣を墨守して革新は概ね喜ばざるな り。愛知県三河国碧海郡中嶋村民諸子発奮して之を践行し、以て他府県耕地の模範と為すに 足る。その功は偉と謂うべきか。蓋(けだ)し、下中島は水旱(すいかん)相継ぎ、連歳登 (みのら) ず。地主農夫の葛藤は纒糾(てんきゅう)して、志有る者は苦慮百端す。遂に、 官、先ず溝渠髙橋用水を開鑿、又、廣田、安藤二川を疎通する。これに於いて、害を除き利 を興し収穫焉(これ)を増し、葛藤焉を釋(とく)る。邦民諸子同心協力して、人を石川・ 静岡県に派し、耕地整理の実況を検し、以て明治34年5月起工、37年4月其所の整理を告成 す。耕地面積 150 町 5 反 8 畝 19 歩、参加土地所有者 320 人、工費約 2 萬円、労役に服するこ と 4 年。其の畦畔区の狭小は広大を為し、溝経の迂回は縄直を為し、犬牙錯綜は井然(せい ぜん)として條を有し、生産の発達は以て期すべき成り。此れ偉業を成すは実に委員長早川 龍介其の他委員諸氏、斡旋の功多きに居す。告成の月8日、竣工式をその郊に挙ぐ。余は深 野愛知縣知事、脇屋碧海郡長、郡中各町村長、耕地整理委員其の他地主等と興(とも)に式 場に同臨し、祝意を述べしは此の日なり。會(たまたま)、我が征露第一軍は鴨緑江に進渡 し、九連城を抜き、更に鳳凰城を陥す。第二軍も亦、塩大澳に上りて普蘭店を侵略の捷報に 接す。而して下中島村民諸氏耕地革新の偉功を奏す。彼此(かれこれ)、記念忘るべからざ るの吉日なり。頃、有志諸子相謀り、碑を建て以て之を不朽に伝うに予に文を請う。誼(ぎ) 辞すべからず。因って其の梗概を記し之を系(つな)ぎ以て銘とす。銘に曰う。



耕地整理記念碑 20150727 1905 (明治38) 年建立



本項は以下の資料を引用している。

[碑は語る岡崎平野の治水と農業]

著者: 渋谷 環発行者:渋谷 環

発行日: 2005 (平成 17) 年 9 月 19 日

印刷所:ブラザー印刷(株)

[六ツ美村誌]

編者 六ツ美村是調査会 発行 六ツ美村是調査会

発行日 1926 (大正 15) 年 12 月 1 日

日新堂書店 発行所 印刷所 活版印刷所

六ツ美村誌には次のように記載されている。

店之捷 文誼 旋之功 廣整理 地 不 大溝 主 邦 彩 登 碧 馬 不 耕 地主農夫葛藤纒糾 以 海 居多焉 可 報 同 農業為生 經 郁民諸氏同 不鮮矣於是官夙 地 郡 院式場 辞 而 迁 面 因記 F 嶋 回 積 中 告成之月八 者 連 百五五 村 其梗 嶋 述 登 為 大字下 村民 加 因 祝 繩 本 + 心協力派 意此 概 A 直 MI 源 八月 諸氏 是所 犬牙 規內 系之以銘 五 有志者苦慮 中 伐 其 日 日 反 嶋 奏耕 法始 俄 也 舉 錯 村 外 以 人於石川 大捷 會接 竣 綜 畝 民 慣 有 者井 諸子 尊 銘 地 T. + 例 瑞 式干 石端 H 革 干 九 穗 新 新之偉 國之 奮 我 然 耕 步 靜 發 發 有條 岡二 逐官 進 征 其 參 憤 地 布 露 郊 加 踐 稱 耕 面 軍 先開 功 子 生 縣 行之足 目 第 土 地 也 整理 彼 與 檢 產之發達 地 然 維忠維 此 軍 千 深 耕 影 所 而 商 歲 記 進渡鴨綠江 野 有 溝渠高橋用 以 古 地 法 務 念不 者三 整理 為他 愛 以 來 力之實 次官從四 孝 知 可 新 田 百二十 以 一畝之制 可忘之吉 縣 實 府 瑞 知 期 况 縣 五. 水叉疏 以明 耕 穗 拔 事 也 施 人工 位 脇 成此 國穰 九 地之模範其 然 畦 農家概 治三 民 穰 H 連 屋 园 偉業者 費約二萬圓 也 城 碧 通 狹 干 更陷 和 廣 頃 海 15) 有志諸 四年 郡 溝 田 墨 實委員 安藤二川於是除害 功 守 H 鳳 長 經 鱼 郡 五月起工三十 可謂偉矣盖下中嶋 舊 迁 城第 中各 服勞役四 產 1: 慣 口 長早 不喜革 各圃 相 謀 二軍亦 次 町 建碑 村長 畛 111 域 郎 年 龍 新 七年 其 以 介其 犬 上 耕 槪 傳之干 神 畦 牙錯 盛 也哉 地 利收 四 大澳進 永旱 整 他 畔 月告成 委員 綜害 理 品 委員 穫 不 狹 相 世 馬 葛 小 繼 縣 生 朽 略 諸 者 其 產之

氏

為 所

共

連

普